




**marantz**  
*PROFESSIONAL*

# PMD561

ユーザーガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

## 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] [http://inmusicbrands.jp/marantz\\_pro/](http://inmusicbrands.jp/marantz_pro/)

**marantz**  
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

**inMusic Japan株式会社**

**カスタマー・サポート部**

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## ユーザーガイド

### はじめに

#### 主な特長：

- プロフェッショナル・グレード・オーディオを安定性と信頼性の高い SD/SDHC フラッシュメディアに直接レコーディング可能
- 選択可能なステレオ / モノラル / WAV/MP3 レコーディング
- 44.1、48、96kHz サンプルレート (WAV)
- 16/24bit から選択可能
- 32kbps ~ 320kbps (MP3) の間で 6 種類から選択可能
- スタジオのインターフェイス等と接続するための S/PDIF デジタル入力
- バランス XLR マイク入力 x 2 (+48V ファンタム電源供給可能)

### 同梱品

- ・ PMD561
- ・ 電源アダプター
- ・ SD カード
- ・ RCA -  $\phi$ 3.5mm ステレオミニプラグ・オーディオケーブル
- ・ USB ケーブル
- ・ Quickstart Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

### サポート

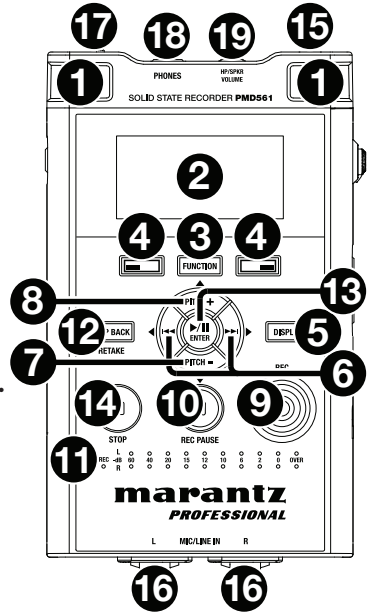
この製品の最新情報（マニュアル、技術仕様、システム要件、互換性情報など）に関しては以下のウェブサイト  
を参照してください：[inmusicbrands.jp/marantz\\_pro](http://inmusicbrands.jp/marantz_pro)

また、修理や使用方法などの製品サポートについては、以下を参照してください：  
[inmusicbrands.jp/marantz\\_pro/support/](http://inmusicbrands.jp/marantz_pro/support/)

機能

フロントパネル

1. **マイク**：内蔵ステレオ・コンデンサーマイク
2. **ディスプレイ**：ディスプレイには、PMD561 の状態や情報を表示します。詳細については、**ディスプレイ**の項目を参照してください。
3. **ファンクション・ボタン**：F1 と F2 ボタンの機能を切り替えるために**ファンクション・ボタン**を押してください。機能は、各動作モードによって異なります。
4. **F1/F2 ボタン**：F1 と F2 ボタンの機能は、各動作モードとファンクション・ボタンによって異なります。ファンクション F1/F2 は、ディスプレイの下の隅に表示されています。ステータスが変更されると自動的に機能が変わります。同じステータスの 2 番目、3 番目の機能は、**ファンクション・ボタン**を押すことによって選択することができます。



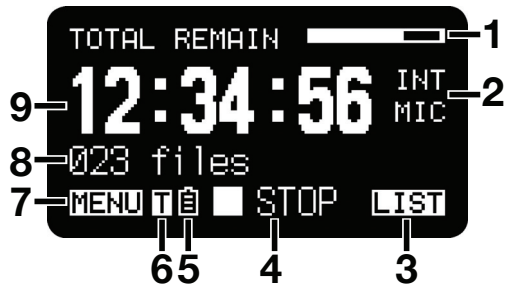
5. **ディスプレイ・ボタン**：時間情報など、**ディスプレイ**に表示する内容を切り替えるために**ディスプレイ・ボタン**を押してください。表示される内容は、各動作モードによって異なります。
6. **◀◀▶▶ / ボタン**：
  - ストップ、プレー、プレー - ポーズ・モード時にこのボタンを押すとファイルを選択することができます（前、または次のファイルにジャンプ）。
  - プレー - ポーズ・モード：このボタンを押したままにすると、オーディオ無しで高速リバース / フォワード・サーチを可能にします（サーチは-/+）。
  - プレーバック・モード：このボタンを押したままにすると、2 倍速スピードの早送り / 巻き戻しサーチを可能にします（サーチは-/+）。
7. **PITCH-ボタン**：再生のスピードを落とすためにこのボタンを使用してください。メニュー・モード時には、アイテムを変更するために使用することができます。
8. **PITCH+ ボタン**：再生のスピードを上げるためにこのボタンを使用してください。メニュー・モード時には、アイテムを変更するために使用することができます。
9. **REC ボタン**：ストップ、Rec- ポーズ・モードからレコーディングを開始するには、このボタンを使用してください。
10. **REC PAUSE ボタン**：ストップ、またはレコード・モードから Rec- ポーズ・モードに入るためにこのボタンを押してください。
11. **レベル LED**（グリーン、オレンジ、レッド）：レコード、Rec- ポーズ、プレーバック・モード時に入力されるサウンドのレベルを表示します。
12. **SKIP BACK ボタン**：プレーバック、またはプレー - ポーズ・モード中にスキップバックさせるためにこのボタンを使用してください。また、このボタンは、Rec- ポーズ・モード時に押すとリテイクレコード・モードが設定されます。

13. **▶/|| /ENTER ボタン**：プレーバック、またはプレー - ポーズ・モードを切り替えることができます。メニュー・モード時は、オプションの選択に使用することができます。
14. **STOP ボタン**：このボタンを押すと、プレーバック、またはレコーディングを停止し、プレー - ポーズ・モード、または Rec ポーズ・モードから離れます。メニュー・モード時にこのボタンを押すとメモリーにストアすることなくメニュー・モードを終了します。
15. **リモートコントロール・ジャック**：オプションのリモート RC600PMD や外部リモート・コントローラーを接続するための端子
16. **MIC.LINE 入カジャック**：XLR ステレオ（マイク / ラインレベル）
17. **PHONTOM/MIC/LINE スイッチ**：このスイッチでファンタム・オン、オフ、ラインを切り替えます。ファンタムは、外部マイクに +48V を供給します。
18. **ヘッドホン・ジャック**：モニタリングやプライベート・リスニングに使用するために、ヘッドホンを接続することができます。
19. **HP/SPKR Vol コントロール**：ヘッドホン、または内蔵スピーカーの出力レベルを調整します。

**警告**：ヘッドホンを使用する場合、高音量で聴取されないように気をつけてください。長時間に渡って高音量で聴取し続けると慢性的な聴覚障害を引き起こす可能性があります。

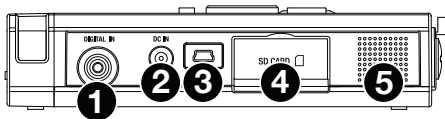
## ディスプレイ

1. カードの残容量
2. インプット・ソース
3. F2 ファンクション
4. ステータス
5. バッテリー・アイコン
6. タイマー・アイコン（タイマー・レコード / プレーバックが設定されている場合、このアイコンが表示されます。タイマーレコード / プレーバック中は点灯します）
7. F1 ファンクション
8. ファイル数
9. 合計時間

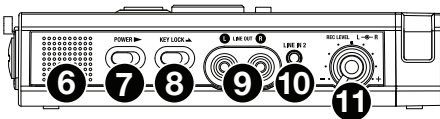


詳しくは、**操作 > ディスプレイ・コントロール**の項目をご参照ください。

左側面



右側面



## 左側面

1. **デジタル入力ジャック**：S/PDIF デジタル出力を装備している外部デバイスからデジタルオーディオ・ケーブルを RCA ジャックに接続してください。
2. **DC 入力ジャック**：付属の電源アダプターを接続してください。バッテリー電源でレコーダーを使用しながら電源アダプターを接続すると、自動的に電源アダプターからの電源に切り替わります。電源アダプターを取り外した場合は自動的にバッテリー電源に切り替わります。
3. **USB ポート (Mini-B)**：停止中に USB ケーブルを接続すると USB モードが始まります。
4. **SD カード・スロット**：SD カードを取り付けるために蓋を引き出してください。
5. **スピーカー**：L チャンネルの内蔵スピーカー

## 右側面

6. **スピーカー**：R チャンネルの内蔵スピーカー
7. **POWER スイッチ**：スイッチをスライドさせ、そのまま少し保持するとパワーがオンになります。オフにする時もスライドさせてください。レコーディング、REC ポーズ・モード時はこのスイッチは無効になります。
8. **KEY LOCK スイッチ**：キーロックのオン / オフをコントロールするスライド・スイッチ。
9. **LINE OUT ジャック**：外部デバイス（アンプ等）にオーディオ信号を出力するためにこのジャックにオーディオ・ケーブルを接続してください。
10. **LINE IN 2 ジャック**：外部デバイスからのサウンドをレコーダーに入力するために、このジャックに外部オーディオ・デバイスを接続してください。
11. **REC LEVEL コントロール**：レコーディング・レベルを調整するために使用してください。つまみの内側は右チャンネル、外側は左チャンネルのコントロールです。片方を回している間に他方を持たない限り、つまみは両方同時に回ります。レベル・メーターが可能な限り 0dB に近くなる（超えない範囲で）ことが最適な録音レベルです。

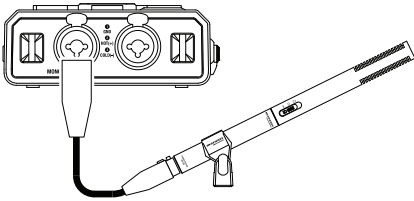
セットアップ

はじめに > 同梱物に記載されていないものは別売です。

接続例

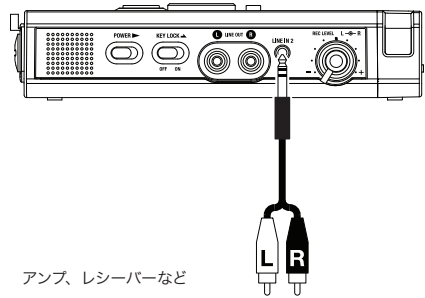
録音

例：A



マイクロホン

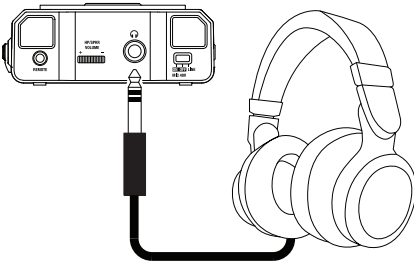
例：B



アンプ、レーザーなど

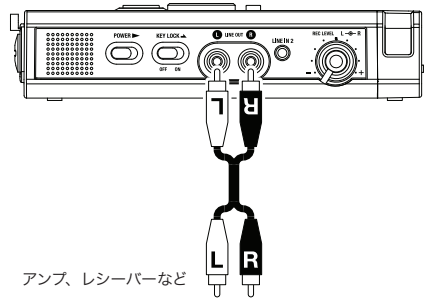
再生

例：A



ヘッドホン

例：B



アンプ、レーザーなど

## クロック・セッティング

トラックがスタートすると、日付、時刻が各トラック（ファイル）にスタンプされます。オーディオ・トラックをコンピューターで見た場合、この日付と時刻は「更新日時」として表示されます。

1. 停止している時に **F1 (Menu)** ボタンを押してください。
2. 時刻 / 日付 (**Time/Date**) を選択するために **PITCH +**、または **PITCH -** ボタンを押してください。
3. 時刻 / 日付の設定を入力するために **ENTER** ボタンを押してください。
  - **STOP** ボタンを押すとキャンセルされます。
  - 項目を選択するために **◀◀** か **▶▶** ボタンを押してください。
  - 時刻を設定したら、トップメニューに戻るために **◀◀** ボタンを押してください。
  - 年を選択した場合、**▶▶** ボタンは無効になります。
  - 値を変更する場合、**PITCH +**、または **PITCH -** ボタンを使用してください。
4. **F1 (Exit)** ボタンを押してください。
  - **Store?** とディスプレイに表示されます。
  - リアルタイム・クロックに書き込むために **Yes** を選び **ENTER** ボタンを押してください。

**注意：Feb.31**（2月31日）のように存在しない日付が入力されている場合は、**Feb.28**（2月28日）のように修正されます。

## 言語

Language メニューを選択すると表示する言語を選択することができます（英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、イタリア語、スウェーデン語）。

1. 停止している時に **F1 (Menu)** ボタンを押してください。
2. 使用する言語を選択するために **PITCH +**、または **PITCH -** ボタンを押してください。
3. 使用言語の設定を決定するために **ENTER** ボタンを押してください。
  - **STOP** ボタンを押すとキャンセルされます。
  - 項目を選択するために **PITCH +**、または **PITCH -** ボタンを押してください。
  - トップメニューに戻るために **◀◀** ボタンを押してください。
4. **F1 (Exit)** ボタンを押してください。
  - **Store?** とディスプレイに表示されます。
  - 変更を書き込むために **Yes** を選び **ENTER** ボタンを押してください。



## 操作

### レコーディング

#### 通常のリコーディング

1. **POWER** ボタンをスライドさせたままにし電源をオンにしてください。
2. レコーディングを始めるには、**REC** ボタンを押してください。
  - レコーディング中、**REC** インジケーターが点灯します。
  - ディスプレイには、レコーディングの情報を表示します。
  - **Rec PAUSE** ボタンを押すと、レコーディングをポーズ状態にします。
3. レコーディングを停止し、ファイルを終了するには、**STOP** ボタンを押してください（オーディオ・ファイルを閉じます）。  
録音したファイルを再生するために **ENTER** ボタンを押すか、もう一度 **STOP** ボタンを押してストップ・モードに入ってください。その後、**ENTER** ボタンを押すと最初のオーディオ・ファイルを再生します。

#### リテイク・レコーディング

PMD561 は、ファイル内のどの位置からでも録音し直すことが可能なリテイク・レコーディング機能があります。

#### レコーディング中にリテイク・レコーディングを行なう：

1. **REC** ボタンを押して通常のリコーディングを開始してください。
2. レコーディングを一時停止するには、**REC PAUSE** ボタンを押してください。
3. リテイクレコーディング・モードを設定するために **SKIP BACK** ボタンを押してください。プリセット・メニューで設定したスキップバック量とプレーバック・スタートの位置にしたがった値でレコーディング・ポジションをスキップバックします。
4. 再生する間にサウンドをモニターしていると、リテイクレコーディングを行いたいポジションを見つけることができます。
  - **ENTER** ボタンを押して再生をポーズ状態にしてください。
  - 希望の位置を探すために **SKIP BACK**、**◀◀** または **▶▶** ボタンを押してください。
  - 再生速度を変更するには、**PITCH +** ボタンと **PITCH -** ボタンを使用してください。リテイクレコーディング・ポジションを設定するために、**REC PAUSE** ボタンを押してください。
5. リテイクレコーディングを始めるために **REC** ボタンを押してください。不要なデータ（テイク 1）を削除し、同じ場所に新たにレコーディングを開始します。  
テイク 2 のレコーディングを開始するとき、0.5 秒、またはプリセット・メニューの**プリ・レコード (PreRecord)** で設定した時間のプリレコーディングを行います。

再生中にリテイクレコーディングを行なう：

1. **◀◀** か **▶▶** ボタンを押して、再生したいファイルを選択してください。
2. **ENTER** ボタンを押して再生を始めてください。
3. 再生する間にサウンドをモニターしていると、リテイクレコーディングを行いたいポジションを見つけることができます。
  - **ENTER** ボタンを押して再生をポーズ状態にしてください。
  - 希望の位置を探すために **SKIP BACK**、**◀◀** または **▶▶** ボタンを押してください。
  - 再生速度を変更するには、**PITCH +** ボタンと **PITCH -** ボタンを使用してください。リテイクレコーディング・ポジションを設定するために、**REC PAUSE** ボタンを押してください。
4. リテイクレコーディングを始めるために **Rec** ボタンを押してください。不要なデータ（テイク 1）を削除し、同じ場所に新たにレコーディングを開始します。  
テイク 2 のレコーディングを開始するとき、0.5 秒、またはプリセット・メニューの**プリ・レコード (PreRecord)** で設定した時間のプリレコーディングを行います。

## 録音のオーディオ入力

録音のオーディオ入力は、「Input」メニューで設定できます。

ステレオ(2チャンネル)音声ファイルとして保存するには、「Rec Channel」メニューを「Stereo」に設定します。または「D.Mono」に設定しても、ステレオ音声ファイルで保存できます。「D.Mono」に設定すると、L(左)チャンネル入力がL(左)とR(右)両方のチャンネルに録音されます。「Mono」に設定すると、モノラル(1チャンネル)音声ファイルが保存できます。モノラルファイルはステレオファイルの約半分の容量になります。

外部マイクロホン用の48V電源を必要とする時、マイクレベル感度を選択するには、PHONTOM/MIC/LINEスイッチを「ON」に設定します。外部マイクロホン用電源が必要なく、マイクレベル感度を選択するには、「OFF」に設定します。ラインレベル感度を選ぶには、「LINE」に設定します。

#	入力	録音チャンネル	PHONTOM/MIC/LINEスイッチ	説明
1	INT MIC	Stereo	無効	LチャンネルとRチャンネルのステレオ録音。
2		D.Mono		Lチャンネルだけのステレオ録音。Rチャンネルが20dB減衰されます。 ●Lチャンネル入力がLとR両方のチャンネルに録音されます。
3		Mono		Lチャンネルのモノラル録音。
4	MIC/LINE	Stereo	ON	LチャンネルとRチャンネルのマイクロホンレベルのステレオ録音。XLR入口に48Vの外部マイクロホン用電源が供給されます。
5			OFF	LチャンネルとRチャンネルのマイクロホンレベルのステレオ録音。
6			LINE	LチャンネルとRチャンネルのラインレベルのステレオ録音。
7		D.Mono	ON	Lチャンネルのみのマイクロホンレベルのステレオ録音。●Lチャンネル入力がLとR両方のチャンネルに録音されます。Rチャンネルが20dB減衰されます。XLR入口に48Vの外部マイクロホン用電源が供給されます。
8			OFF	Lチャンネルのみのマイクロホンレベルのステレオ録音。●Lチャンネル入力がLとR両方のチャンネルに録音されます。Rチャンネルが20dB減衰されます。
9			LINE	Lチャンネルのみのラインレベルのステレオ録音。●Lチャンネル入力がLとR両方のチャンネルに録音されます。Rチャンネルが20dB減衰されます。
10			Mono	ON
11	OFF	Lチャンネルのマイクロホンレベルのモノラル録音。		
12	LINE	Lチャンネルのラインレベルのモノラル録音。		
13	LINE2	Stereo	無効	LチャンネルとRチャンネルのラインレベルのステレオ録音。
14		D.Mono		Lチャンネルのみのステレオ録音。●Lチャンネル入力がLとR両方のチャンネルに録音されます。Rチャンネルが20dB減衰されます。
15		Mono		Lチャンネルのみのモノラル録音。
16	D.IN	Stereo	無効	LチャンネルとRチャンネルのステレオ録音。
17		D.Mono		Lチャンネルのみのステレオ録音。●Lチャンネル入力がLとR両方のチャンネルに録音されます。
18		Mono		Lチャンネルのみのモノラル録音。

## プレイバック

1. **POWER** ボタンをスライドさせたままにし電源をオンにしてください。
2. ◀◀ か ▶▶ ボタンを押して、再生したいファイルを選択してください。
3. **ENTER** ボタンを押して再生を始めてください。もう一度 **ENTER** ボタンを押すと一時停止します。
4. 再生を停止するには、**STOP** ボタンを押してください。  
録音したファイルを再生するために **ENTER** ボタンを押すか、もう一度 **STOP** ボタンを押してストップ・モードに入ってください。その後、**ENTER** ボタンを押すと最初のオーディオ・ファイルを再生します。

**注意：**プリセットの **File Sort** の設定でファイルの並べ替えを行うことができます。**アルファベット (Alphabet)** に設定すると、記号、数字、アルファベット順にソートされます。**時間 / 日付 (Time/Date)** に設定すると、オーディオファイルを作成した順にソートされます。

再生したいファイルを選択するには 2 通りの方法があります。ストップ・モード中に ◀◀ または ▶▶ ボタンを使用するか、ファイルリストからファイルを選択してください：

1. 停止中に **F2 (List)** ボタンを押してください。ファイル・リストが表示されます。
2. オーディオ・ファイルを選択するために **PITCH +**、または **PITCH -** ボタンを押してください。次に **ENTER** ボタンを押してファイルリスト・メニューを表示してください。
3. 再生するファイルを選択するために **PITCH +**、または **PITCH -** ボタンを使用してください。その後、**ENTER** ボタンを押して再生を開始してください。  
再生中に **STOP** ボタンを押すとファイル・リストに戻ります。

## USBモード

PMD561 は SD カードに直接録音を行います。録音したファイルは、PMD561 から SD カードを抜いて、お手持ちのコンピューターに挿入することで、ファイルをコンピューターに転送できます。あるいは、USB ケーブルで PMD561 とコンピューターを接続して、ファイルを転送することも可能です。PMD561 内の SD カードは、接続されたコンピューター上に外部ドライブとして表示されます。

※ 一般的には、MP3 圧縮フォーマットで録音したオーディオは、WAV フォーマットより容量が小さく、インターネット上で共有するのに適しています。

1. コンピューターの電源をオンにしてください。
2. SD カードを挿入してください。
3. PMD561 の電源をオンにしてください。
4. 停止中にコンピューターと PMD561 を接続してください。
  - USB モードがオンになり、設定画面が表示されます。
  - PMD561 内の SD カードは、コンピューター上にリムーバブルデバイスとして表示されます。

### 注意：

- USB パワーは、AC アダプターやバッテリーが無くてもこの機能を有効にします。
- **POWER** スイッチ以外は機能しません。
- USB モード中に SD カードを抜かないでください。保存されているデータが破損する恐れがあります。
- 録音 / 再生時には、PMD561 とコンピューターにケーブルを接続しないでください。  
PMD561 は、USB パワーの状況によって電源をオフにしたり、ストップする場合があります。

## その他の機能

### 外部マイクロホン

#### マイクロホン入力のアッテネーター

マイクロホン入力のアッテネーターが搭載されているため、感度の異なる色々なマイクに直接対応できます。

- **0dB**：マイクの減衰なし。
- **-6dB**：MIC ジャックに接続した外部マイクロホンの入力を 6dB 減衰。
- **-12dB**：MIC ジャックに接続した外部マイクロホンの入力を 12dB 減衰。
- **-18dB**：MIC ジャックに接続した外部マイクロホンの入力を 18dB 減衰。

プリセットメニューの **MIC Atten** で設定します。

#### ファンタム電源

外部マイクロホンとしてコンデンサーマイクロホンを接続した場合、**PHANTOM/MIC/LINE** スライドスイッチを **ON** にすると、+48V の電源がマイクロホンに供給されます。

- **ON**：コンデンサーマイクロホンに +48V 電源が供給されます。
- **OFF**：外部マイクロホン用電源は供給されません。

#### お勧めのマイクロホン

感度が高く録音品質の高いプロ用コンデンサーマイクロホンをお勧めします。但し、コンデンサーマイクロホンは、本機の外部マイクロホン電源または別の電源が必要となります。

ダイナミックマイクロホンを使用できますが、使用状態によっては最適な録音オーディオ品質が得られないことがあります。

使用条件に適したマイクロホンを選ぶには、販売店にご相談ください。使用目的に適したマイクロホンの性能と特性をご説明いたします。

### プリレコーディング

「Pre Record」メニューを「On」にし、本体を録音ポーズ状態にすると、本体は常にオーディオ入力の録音ファイルを 2 秒間だけ内蔵メモリに保持することができます。録音が始まると、まず開始した 2 秒前の録音ファイルを SD カードに保存し、その後すぐ継続して録音ファイルを保存します。プリセットメニューの「PreRecord」で設定します。

### オーディオフィルター

#### ローカットフィルター

録音中にオーディオ入力の低音域をカットします。「Low Cut」が「On」に設定されていると、屋外録音で発生する風切音などの雑音を低減します。プリセットメニューの「**Low Cut**」で設定します。

#### ハイカットフィルター

録音中にオーディオ入力の高音域をカットします。「High Cut」が「On」に設定されていると、周囲の高周波ノイズを低減します。プリセットメニューの「**Hight Cut**」で設定します。

## サイレントスキップ

サイレントスキップは、無音状態になると録音を自動的に一時停止し、入力音を検知すると録音を自動的に再開します。

プリセットメニューの「**Silent Skip**」で以下の設定ができます。

- サイレントスキップの On/Off 設定
- 無音と判定するレベルを、-60dB、-54dB、-38dB、-20dBの中から設定

プリセットメニューの「**Silent Skip**」設定します。

## マニュアルトラック

プリセットメニューの「Manual Track」が「On」に設定されている場合、録音中に **FUNCTION** ボタンを押し、表示部に「**TR**」が表示され、その後 **F1 (TR)** ボタンを押すと、オーディオファイルがその時点で新規作成されます（手動トラック追加機能）。SD カードの処理速度またはオーディオファイルのサイズなどにより、再生中にわずかな音切れが発生することがあります。

## オートトラック

プリセットメニューの「Auto Track」が「On」に設定されている場合、録音を開始すると指定された録音時間感覚で新しいオーディオファイルが自動的に開始されます。

- オートトラックは 1 分、5 分、10 分、15 分、30 分、または 1 時間、2 時間、6 時間、8 時間、12 時間、24 時間毎にファイルが増えるように設定できます。
- オートトラックを利用すれば、録音の特定箇所を簡単に検索できます。例えば、1 分ごとに新規ファイルが増えるように録音された場合：
  - ファイル番号と時間の関係上、再生中に特定の移動したい箇所をより簡単に検索できます。
  - 再生中にファイル 003 を選べば、録音の約 3 分目を再生できます。
  - 約 10 分目の箇所を再生するには、ファイル 010 を選択すれば再生できます。

ファイル番号	録音時間
001	0:00～0:59
002	1:00～1:59
003	2:00～2:59

SD カードの処理速度またはオーディオファイルのサイズなどにより、再生中にわずかな音切れが発生することがあります。

**注意：**録音したファイルの容量が 4GB に達すると、自動的に新しいオーディオファイルが始まります。

## セグメントのコピー

コピーしたいファイルの始点から終点までを指定し、指定部分（セグメント）を「強調表示」させ、元のファイルを損なうことなく新しいファイル上に貼り付けることができます。

1. 再生中に F1 表示が「**COPY**」と表示されている時、コピーしたいファイルの開始点で **F1 (COPY)** ボタンを押します。「**Set as IN?**（開始点に設定しますか?）」と表示されます。
2. **ENTER** ボタンを押すと開始点が保存されます。表示部に「**IN-**」が点滅し、開始点が保存されたことを示し、ファイルの再生が再開されます。
3. コピーしたいファイルの終了点まで再生を続けるか、コピー範囲が長いときは **◀◀**または **▶▶**ボタンを使って希望のコピー範囲を定めます。

4. コピーしたいファイルの終了点に達したなら **F1 (COPY)** ボタンを押します。「Set as OUT? (終了点に設定しますか?)」と表示されます。
5. **ENTER** ボタンを押すと終了点が保存されます。「Copy Segment?」が表示されます。
6. **ENTER** ボタンを押すと、コピー処理が開始されます。表示部に「Executing... (実行中)」と表示されます。コピー処理が終了し表示部に「Completed」が 1 秒間表示された後に、新しいファイルを現在のファイルとして停止状態に戻ります。

**注意：**

- 新しいファイルには、ファイル名の末尾に「\_1」が追加されます。例えば、元のファイル名が「aaa.mp3」の場合には、新しいファイル名は「aaa\_1.m3」となります。
- コピー領域が 2 ファイル以上にまたがるときは、指定したセグメントを 1 ファイルに連結してコピーします。
- 異なる「Rec Format」または「Rec Channel」設定のファイルにまたがるときは、コピーできません。
- コピーができる範囲は最大 80 分です。

## ファイル分割

ファイル分割機能により、目的の位置でファイルを分割できます。

1. 再生中に、F1 表示が「DIV」と表示されるまで **FUNCTION** ボタンを押します。次に、**F1 (DIV)** ボタンを押します。
  - 表示部に「Divide?」と表示されます。
  - この時分割を中止し再生を一時停止するには「No」を選び **ENTER** ボタンを押します。
2. 分割を開始するには、「Yes」を選んで、**ENTER** ボタンを押します。表示部に「Executing... (実行中)」と表示されます。分割処理が終了し表示部に「Completed」が 1 秒間表示された後に、分割されたファイルの 2 つ目のファイルの開始点で停止状態になります。

**注意：**

- 分割した後、1 つ目のファイル名の末尾に「\_A」が追加されます。例えば、元のファイル名が「aaa.mp3」の場合には、分割後の 1 つ目のファイル名は「aaa\_A.m3」となります。
- 分割後の 2 つ目のファイル名の末尾には「\_B」が追加されます。
- ファイル名の文字数が拡張子を含め既に 63 文字以上である場合、ファイル分割はできません。表示部に「Long Title」と表示され、**ENTER** ボタンが押された位置で再生ポーズ状態になります。

## マーキング

録音または再生中に、手動または自動でマークを追加することができます。このマーキング情報は MP3 ファイルの ID3 タブ (Ver2) として保存されるか、または WAV ファイルにチャックとして追加されます。マーキングすることで、録音内容の特定箇所を簡単に検索できます。

- 再生中マークの位置を簡単に検索できます。
- 1 つのファイルに追加できるマークは最大 30 個です。
- マーキングでは、番号は 1 から始まる連続したマーク番号が付けられます。
- 録音中または再生中に **F2 (MARK)** ボタンを押すと、手動でマークを追加できます。

### 手動マーキング

録音中または再生中に、F2 表示が「MARK」と表示されるまで **FUNCTION** ボタンを押します。次に **F2 (MARK)** ボタンを押して、手動でマークを追加します。

## 自動マーキング

「Auto Mark」メニューで、自動マーキング機能を設定できます。

- 「Auto Mark」が「On」の時、本機が録音ポーズから録音再開されると、マークが追加されます。
- 「Auto Mark」が「On」の時、無音状態を3秒以上録音し、その後再び入力音を検知したときにマークが追加されます。

「Auto Mark」メニューで以下の設定ができます。

- 自動マーキングの On / Off 設定
  - 無音と判定するレベルを、-60dB、-54dB、-38dB、-20dBの中から設定
- プリセットメニューの「**Auto Mark**」で設定します。

## マークの検索

再生ポーズ中または再生中に、F1 表示および F2 表示に「MK-」と「MK+」が表示されるまで **FUNCTION** ボタンを押します。次に、**F1 (MK-)** または **F2 (MK+)** ボタンを押して、検索したいマークを選びます。選択されたマークの位置で一時停止状態になります。再生を開始するには、**ENTER** ボタンを押します。

## ピッチ調整

ピッチ調整により、再生速度（ピッチ）を -40% から +20% の範囲で変更できます。

再生中に、**PITCH +** ボタンを押すごとに、再生速度が 5% ずつ速くなります。再生速度は +20% まで速くできます。**PITCH -** ボタンを押すごとに、再生速度が 5% ずつ遅くなります。再生速度は -40% まで遅くできます。

## 補足機能

### キーロック

**KEY LOCK** スイッチを矢印方向にスライドさせると、キーロックが設定されます。キーロック状態ではプリセットメニューで設定した内容に応じたキーロック状態を録音、再生、または停止状態で保ちます。

録音中および録音ポーズ中は、**POWER** スライドスイッチは常に無効となります。

### 注意：

- プリセットメニューの「**Key Lock**」が「**All**」に設定されていると、別売のワイヤードリモート装置「**RC600PMD**」だけが有効となります。
- プリセットメニューの「**Key Lock**」が「**Partial**」に設定されていると、本体の **REC**、**REC PAUSE**、および **STOP** ボタンと **RC600PMD** が有効となります。
- キーロック中に無効となっているキーを押すと「**Key Locked**」が 1 秒間表示されます。

プリセットメニューの「**Key Lock**」で設定します。



## リモート接続

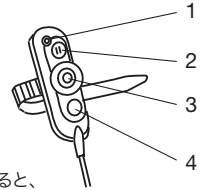
本機では、別売のワイヤードリモート装置 RC600PMD（国内取扱未定）を使用できます。RC600PMD はマイクロホンに取り付けて使うインタビュー用リモート装置です。

RC600PMD は、1.5m コードに 4 端子ミニプラグが付いています。RC600PMD を使用するときは、メニューでの設定は必要ありません。

RC600PMD には、以下のボタンおよび表示があります。

### 1. インジケータ

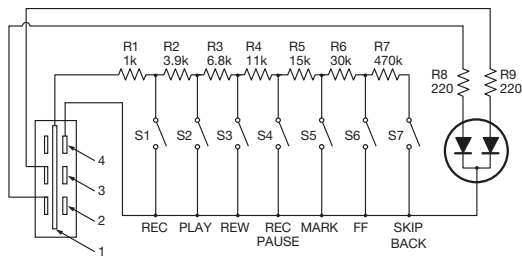
- 緑：スタンバイ状態または停止状態の時に点灯
- 赤：録音中に点灯
- 赤の点滅：録音ポーズ中に点滅
- オレンジ：録音または録音ポーズ中にピークレベルを越える信号が入力されると、0.5 秒間点滅してから赤に戻ります。



2. このボタンを押すと、録音を一時停止します。
3. このボタンを押すと、録音を開始 / 再開します。また手でファイルを新しく追加します。
4. このボタンを押すと、録音中または再生中にマークを追加します。

## リモート機能の拡張

下図の回路を組み込んだリモート装置を使用すると、リモートコントロール機能として **PLAY** と **FF**、**REW** スイッチの操作ができます。

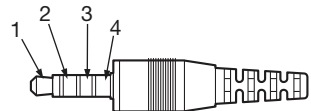


### 注意：

- **PLAY** スイッチを閉じている間は再生し、開けると同時にスキップバックし、一時停止状態になります。
- 抵抗誤差：5%以内
- 外部電圧は加えないでください。誤動作が起きる場合があります。
- 直接回路に接触しないように、回路は絶縁してください。静電気は誤動作の原因となりますので、回路を静電気から保護する構造にしてください。
- 本機の操作と同時に回路のスイッチを操作しないでください。
- 本回路の仕様による、いかなる損害あるいは特許ならびにその他の権利の侵害に対して、弊社は一切の責任を負いません。
- 本内容は、弊社または第三者の特許またはその他の権利を認めるものではありません。
- 本回路図の一部または全体を転載あるいは複製することは、厳重に禁じられています。

プラグタイプ (3.5mm TRRS ミニプラグ) Φ3.5/4P (TMP-B66)

- 1：チップ
- 2：リング
- 3：リング
- 4：スリーブ（接地）



ディスプレイ・コントロール

DISPLAY ボタンを押すごとに、情報の表示内容が変更されます。停止、録音、再生の各状態に応じて表示内容が異なります。

停止状態の場合

1. 総残量



2. 現在の時刻/日付

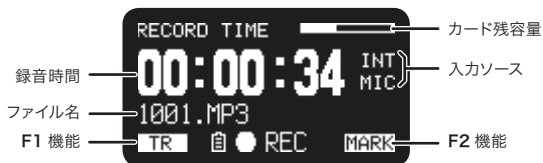


3. 録音セットアップ

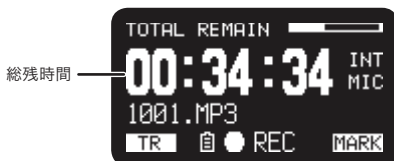


録音状態の場合

1. 録音時間



2. 総残量





## メニュー

### トップメニュー

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
  - メニュー一覧が表示されます。
  - 選択した項目が強調表示されます。
  - 一番最初の項目を選択したい状態で **PITCH +** ボタンを押すと、最初の項目にジャンプします。
  - 一番最後の項目を選択した状態で **PITCH -** ボタンを押すと、最初の項目にジャンプします。
2. **PITCH +** または **PITCH -** ボタンを押して設定項目を選択します。
3. **ENTER** ボタンを押すと、選択した項目を確定または実行します。

### メニュー項目と機能説明

#	表示	説明
1	Presets	プリセットメニューが実行されます。
2	Display	表示メニューが実行されます。
3	Time/Date	現在の時刻と日付を設定します。
4	Utility	ユーティリティメニューが実行されます。
5	Language	表示部の言語を選択します。
6	F/W Version	ファームウェアのバージョンが表示されます。

### メニューの設定保護

プリセットメニューの「**Menu Lock**」を「**On**」に設定すると、トップメニュー以下の項目を選択した際にパスワードが必要になり、設定内容を保護することができます。

パスワードは、プリセットメニューの「**Passcode**」に設定した 0000～9999 の数字です。

### プリセットメニュー

プリセットメニューでは、録音入力、録音形式、再生モードなどのレコーダーに関する詳細なプリセット設定を最大 3 つまで保存することができます。プリセットメニューには 20 項目のメニュー項目があり、3 つのプリセット (**Preset-1、-2、-3**) をお好みの条件で設定できます。

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
2. **PITCH+** または **PITCH-** ボタンを押して、「**Presets**」を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
3. **PITCH+** または **PITCH-** ボタンを押して、**Preset-1、2、または 3** (名称を変更している場合は目的のプリセット) の中から 1 つ選択します。
4. **ENTER** ボタンを押すと、選択したプリセット番号が確定されます。
  - 次に操作メニューが表示されます。
  - 「**Select**」を選んで **ENTER** ボタンを押すと、選択したプリセット設定が保存されます。
  - 「**Edit**」を選んで **ENTER** ボタンを押すと、選択したプリセットの設定を変更できます。
  - 「**Rename**」を選んで **ENTER** ボタンを押すと、選択したプリセットの名前を変更できます。

## 操作メニューの機能

#	表示	説明
1	Select	選択したプリセットの設定を保存します。
2	Edit	選択したプリセットの設定を変更します。
3	Rename	選択したプリセットの名前を変更します。

### プリセットの名称変更

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
2. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「Preset」を選択します。**ENTER** ボタンを押して確定します。
3. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、**Preset-1、2、**または **3** (名称変更している場合は目的のプリセット) の中から1つ選択します。
4. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「Rename」を選び、**ENTER** ボタンを押して確定します。
5. プリセットの名前を変更します。  
テキストを挿入あるいは削除することで、プリセット名を変更します。**◀◀**または**▶▶**ボタンで、テキストを挿入および削除する箇所にカーソルを移動します。
  - **文字の変更**：**PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、変更したい文字を選びます。
  - **文字の挿入**：**F1 (INS)** ボタンを押します。強調表示された文字の左側に新しい文字が挿入され、その後挿入した文字が強調表示されます。
  - **文字の削除**：**F2 (DEL)** ボタンを押すと選択した文字が削除されます。
6. 変更を保存するには **ENTER** ボタンを押します。変更を保存せずに前のページに戻るには、プリセット名称の最初の文字が強調されているときに、**◀◀**ボタンを押します。

### 注意：

- プリセット名の最後の文字にスペースを入力した場合、変更した名前にはスペースが入りません。
- プリセット名の長さは最大 8 文字までです。9 文字目を入力しても削除されます。
- 挿入できる文字は次のとおりです：A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z a b c d e f g h i j k l m n o p q r s t u v w x y z (space) ! " # \$ % & ' ( ) + , - . ; = @ [ ] ^ \_ ` { } ~ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9.

## プリセットメニューリスト

#	表示	説明
1	Input	INT MIC / MIC/LINE / LINE2 / D.IN
2	Rec Format	MP3-320 / MP3-256 / MP3-192 / MP3-128 / MP3-64 / PCM-16 / PCM-24
3	Rec Channel	Stereo / Mono / D.Mono
4	Sample Rate	44.1k / 48k / 96k
5	PreRecord	On / Off
6	Level Cont.	Manual / ALC
7	Auto Track	Off / 1min / 5min / 10min / 15min / 30min / 1hour / 2hour / 6hour / 8hour / 12hour / 24hour
8	Auto Mark	Off / -60dB / -54dB / -38dB / -20dB
9	Silent Skip	Off / -60dB / -54dB / -38dB / -20dB
10	Mic Atten.	0dB / -6dB / -12dB / -18dB
11	Low Cut	On / Off
12	High Cut	On / Off
13	Skip Back	0.5sec / 1sec / 1.5sec / 2sec / 2.5sec / 3sec / 3.5sec / 4sec / 4.5sec / 5sec / 5.5sec / 6sec / 6.5sec / 7sec / 7.5sec / 8sec / 8.5sec / 9sec / 9.5sec / 10sec / 15sec / 20sec / 25sec / 30sec / 35sec / 40sec / 45sec / 50sec / 55sec / 60sec
14	Key Lock	All / Partial
15	Battery	Alkaline / Ni-MH
16	Auto Power Off	Off / 5m / 15m / 30m / 60m
17	Beep	On / Off
18	Menu Lock	On / Off
19	Passcode	4桁の数字
20	SP Mute	On / Off
21	Play Mode	Single / Cont.
22	MachineID	最大8桁のASCIIコード
23	Preset Default	

### 編集モードの基本操作

1. プリセットの操作メニューで、**PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して「Edit」を選び、次に**ENTER**ボタンを押します。
  - プリセットメニュー一覧が表示されます。
2. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押してプリセット項目を選択します。次に、**◀◀**または**▶▶**ボタンを押して、目的の設定値を選択します。
3. プリセットの変更が終了したら、**F1 (EXIT)**ボタンを押します。
  - 「Store ?」が表示されます。
4. 変更を保存するには、「Yes」を選んで**ENTER**ボタンを押します。変更を保存せずにメニューモードを終了するには、「No」を選んで**ENTER**ボタンを押します。

## 1) Input (入力)

「Input」メニューで録音するオーディオ入力を選択します。

設定値	説明
INT MIC	内蔵ステレオマイクロホン
MIC/LINE	外部マイクロホン (MIC/LINE ジャック)
LINE2	ラインレベル入力 (LINE2 ジャック)
D.IN	デジタル入力

## 2) Rec Format (録音形式)

「Rec Format」では、オーディオ録音形式として MP3 圧縮または高品質 PCM を選択できます。また、MP3 ではビットレート (320、256、192、128 または 64kbps) を選択でき、PCM では量子化ビット数 (16bit または 24bit) を選択できます。

設定値	説明
MP3-320 / MP3-256 /	(MP3)
MP3-192 / MP3-128 /	Mono: 160, 128, 96, 64, 32kbps
MP3-64	Stereo: 320, 256, 192, 128, 64kbps
PCM-16 / PCM-24	(PCM)
	Quantization: 16bits, 24bits

## 3) Rec Channel (録音チャンネル)

「Rec Channel」では録音チャンネルを選択します。ステレオ 2 チャンネル、モノラル 1 チャンネル、またはデュアルモノによるステレオ 2 チャンネルの中から選択できます。

設定値	説明
Stereo	ステレオ 2 チャンネルオーディオファイル
Mono	モノラルオーディオファイル
D.Mono	ステレオ 2 チャンネルオーディオファイル。L (左) チャンネル入力が L (左) と R (右) 両方のチャンネルに録音されます。

## 4) Sample Rate (サンプリング周波数)

「Sample Rate」では、録音時のサンプリング周波数を選択できます。

設定値	説明
44.1k	PCM と MP3 用のサンプリング周波数
48k	PCM と MP3 用のサンプリング周波数
96k	PCM 用サンプリング周波数

## 5) PreRecord (プリレコーディング)

「PreRecord」では、プリレコーディング機能を設定できます。

設定値	説明
On	PreRecord オン
Off	PreRecord オフ

## 6) Level Cont. (録音レベル調整)

「Level Cont.」では、録音レベル調整を手動にするか自動にするかを選択できます。

設定値	説明
Manual	マニュアル・レベル・コントロール
ALC	オート・レベル・コントロール

## 7) Auto Track (オートトラック)

「Auto Track」では、オートトラック機能を設定できます。また新しいトラックを自動的に追加するときの時間間隔を選択できます。

設定値	説明
Off	オートトラック機能オフ
1min / 5min / 10min / 15min / 30min / 1hour 2hour / 6hour / 8hour 12hour / 24hour	オートトラック機能をオンにし、新しいファイルを追加するときの時間間隔を設定します。

## 8) Auto Mark (自動マーキング)

「Auto Mark」メニューでは、自動マーキング機能をオンにして無音判定レベルを設定したり、この機能をオフにすることができます。入力レベルが 3 秒以上プリセット値(-60、-54、-38、-20dB)を満たさない状態になると、その区間は無音と認識され、その区間の最後に自動的にマークが追加されます。

設定値	説明
Off	オートマーク機能オフ
-60dB / -54dB / -38dB / -20dB	サイレントレベル設定

## 9) Silent Skip (サイレントスキップ)

「Silent Skip」メニューでは、サイレントスキップ機能をオンにして無音判定レベルを設定したり、この機能をオフにすることができます。サイレントスキップ機能をオンにすると、入力レベルが 3 秒以上プリセット値 (-60、-54、-38、-20dB) を満たさない状態になると、録音が自動的に一時停止されます。

設定値	説明
Off	サイレントスキップ機能オフ
-60dB / -54dB / -38dB / -20dB	サイレントスキップ機能をオンにし、サイレントレベルを設定します。



### 10) Mic Atten. (マイク減衰)

「Mic Atten.」により、マイクロホン減衰レベルを選択できます。

設定値	説明
0dB	マイクアッテネーター機能オフ
-6dB / -12dB / -18dB	マイクアッテネーター機能をオンにし、減衰レベルを設定します。

### 11) Low Cut (低音域カット)

「Low Cut」により、低音域カット機能を設定できます。

設定値	説明
Off	ローカットフィルター・オフ
On	ローカットフィルター・オン

### 12) High Cut (高音域カット)

「High Cut」により、高音域カット機能を設定できます。

設定値	説明
Off	ハイカットフィルター・オフ
On	ハイカットフィルター・オン

### 13) Skip Back (スキップバック)

「Skip Back」では、スキップバックの時間を 0.5 秒から 60 秒までの範囲で設定できます。

設定値
0.5sec / 1sec / 1.5sec / 2sec / 2.5sec / 3sec / 3.5sec / 4sec / 4.5sec / 5sec / 5.5sec / 6sec / 6.5sec / 7sec / 7.5sec / 8sec / 8.5sec / 9sec / 9.5sec / 10sec / 15sec / 20sec / 25sec / 30sec / 35sec / 40sec / 45sec / 50sec / 55sec / 60sec

### 14) Key Lock (キーロック)

録音、再生、または停止状態で、このメニューで設定した内容に応じてキー操作を無効とします。

設定値	説明
All	すべてのボタンが無効となります。
Patial	<b>REC、REC PAUSE、STOP</b> ボタンを除く、すべてのボタンが無効となります。

### 15) Battery (電池)

「Battery」では、電池の種類を設定します。本機を電池でお使いになる場合は、単 3 形アルカリ電池または単 3 形ニッケル水素電池 4 本で使用できます。この「Battery」の設定に従って、電池の残量および「Low Battery」が表示されます。実際に装着された電池と異なる設定をすると、電池の状態が正しく表示されなくなります。

設定値	説明
Alkaline	アルカリ電池に設定します。
Ni-MH	ニッケル水素電池に設定します。

### 16) Auto Power Off (オートパワーオフ)

本機が停止状態または再生ポーズ中に長時間何も操作されなかったときは、電池寿命を維持するために電源を自動的にオフするように設定できます。

設定値	説明
Off	オートパワーオフ機能をオフにします。
5m / 15m / 30m / 60m	オートパワーオフ機能をオンにし、この機能が働くまでの時間を設定します。

### 17) Beep (アラーム音)

「Beep」により、アラーム音を設定できます。この機能をオンにすると、電池残量が少なくなったり、SD カードに録音の空き容量がなくなったときに、アラーム音で警告します。

設定値	説明
On	アラーム音をオンにします。
Off	アラーム音をオフにします。

### 18) Menu Lock (メニュー設定の保護)

「Menu Lock」により、トップメニュー以下の設定項目をパスワードで保護することができます。

設定値	説明
On	パスワードによる保護が有効になります。
Off	パスワードによる保護が無効になります。

### 19) Passcode (パスコード)

「Menu Lock」がオンの場合のパスワードとして使用します。

設定値
0000~9999 の 4 桁の数字 (初期値は 0000)

## 20) SP Mute (スピーカー消音)

「SP Mute」により、スピーカーの消音機能を設定できます。「SP Mute」が On に設定されていると、録音中の音はスピーカーから出力されません。Off に設定されていると、録音中の音がスピーカーから出力されます。但し、内蔵マイクロホンの音を録音しているときは、出力されません。

設定値	説明
On	スピーカーミュート・オン
Off	スピーカーミュート・オフ

## 21) Play Mode (再生モード)

「Play Mode」では、1 ファイル再生モードと連続再生モードを選択できます。

設定値	説明
Single	シングル再生モード
Cont.	連続再生モード

## 22) Machine ID (マシン ID)

本機で録音されたオーディオファイルにはマシン ID 情報が付与されます。この情報はファイル名に含まれています。例えば、マシン ID が「aaaaa」であれば、最初のファイルは、「aaaaa001.wav」または「aaaaa001.mp3」とになります。マシン ID 設定は、3 つのプリセットすべてに適用されます。

1. プリセットメニューで、**PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「**Machine ID**」選択します。**ENTER** ボタンを押して確定します。
2. マシン ID 名称を変更します。「**プリセットの名称変更**」の手順を参照してください。
3. **ENTER** ボタンを押してトップメニューを表示し、**F1 (EXIT)** ボタンを押して変更を保存します。

### 注意：

- マシン ID の最後の文字にスペースを入力した場合、変更した ID にはスペースが入りません。
- 文字数が 8 文字を超える場合、新しく文字を追加すると最後の文字が削除されます。

## 23) Preset Default (プリセットデフォルト)

「Preset Default」では、選択したプリセット番号の設定内容をデフォルト（初期設定）に戻します。

1. プリセットメニューで、**PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して「**Preset Default**」を選択します。**ENTER** ボタンを押して確定します。
2. 「**Default?**」メッセージ表示中に「**Yes**」を選び、次に **ENTER** ボタンを押します。プリセットの設定内容が初期状態に戻り、メモリに書き込まれます。

プリセット初期値一覧

#	Display	Preset-1	Preset-2	Preset-3
1	Input	INT MIC	INT MIC	INT MIC
2	Rec Format	MP3-128	MP3-320	PCM-24
3	Rec Channel	Stereo	Stereo	Stereo
4	Sample Rate	44.1k	44.1k	96k
5	PreRecord	On	Off	Off
6	Level Cont.	ALC	Manual	Manual
7	Auto Track	Off	Off	Off
8	Auto Mark	Off	Off	Off
9	Silent Skip	Off	Off	Off
10	Mic Atten.	0dB	0dB	0dB
11	Low Cut	On	Off	Off
12	High Cut	On	Off	Off
13	Skip Back	3sec	3sec	3sec
14	Key Lock	All	All	All
15	Battery	Alkaline	Alkaline	Alkaline
16	Auto Power Off	15m	15m	15m
17	Beep	On	On	On
18	Menu Lock	Off	Off	Off
19	Passcode	0000	0000	0000
20	SP Mute	Off	Off	Off
21	Play Mode	Cont.	Cont.	Cont.
22	MachinelD	1	1	1
23	Preset Default			

## 表示メニュー

Brightness、Timer、LED、Time Format、Date Form、File Sort などの表示メニューに関する設定を保存できます。

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
  - メニュー一覧が表示されます。
  - 選択した項目が強調表示されます。
  - 一番最初の項目を選択した状態で **PITCH+** ボタンを押すと、最後の項目にジャンプします。
  - 一番最後の項目を選択した状態で **PITCH-** ボタンを押すと、最初の項目にジャンプします。
2. **PITCH+** または **PITCH-** ボタンを押して、「**Display**」を選択します。
3. **ENTER** ボタンを押します。
  - 選択した項目の番号が点滅します。
  - 選択した項目の設定内容が強調表示されます。
  - 表示メニューモード中に **STOP** ボタンを押すと、停止状態に戻ります。
4. **PITCH+** または **PITCH-** ボタンを押して、表示メニューから目的の項目を選択します。設定内容を選択するには、**◀◀** または **▶▶** ボタンを押します。
5. **PITCH+** または **PITCH-** ボタンを押して、他の表示メニュー項目を選択します。表示メニューの変更を終了し保存するには、**F1 (EXIT)** ボタンを押します。**STOP** ボタンを押すと、変更を保存せずにメニューモードを終了します。
6. 変更を保存するには、「**Store?**」表示中に「**Yes**」を選んで **ENTER** ボタンを押します。変更を保存せずにトップメニューに戻るには、「**No**」を選んで **ENTER** ボタンを押します。内容が初期状態に戻り、メモリに書き込まれます。

## ディスプレイ・メニューリスト

#	表示	選択肢	初期値
1	Brightness	1~8	5
2	Timer	Off / 30sec / 60sec / 90sec	Off
3	LED	On / Off	On
4	Time Form	12H / 24H	12H
5	Date Form	M/D/Y / D/M/Y	M/D/Y
6	File Sort	Alpabet / Time/Date	Time/Date
7	Default	--	--

### 1) Brightness (明るさ)

「Brightness」により OLED (有機発光ダイオード) 表示部の明るさを調整できます。

設定値	説明
1~8	(暗) 1~8 (明)

## 2) Timer (タイマー)

「Timer」によりタイマー機能を設定できます。またこの機能が働くまでの時間を設定できます。タイマー機能がオンの時、予め設定された時間（30、60、または 90 秒）の間ボタンが操作されなければ、表示の一部が自動的に消えます。この機能をオンにすると、電池の寿命を伸ばすことができます。

設定値	説明
Off	タイマー・オフ
30sec / 60sec / 90sec	タイマーをオンにし、時間を設定。

## 3) LED

「LED」により、すべての LED インジケーターを点灯させるか消灯させるかを設定できます。

設定値	説明
On	LED オン
Off	LED オフ

## 4) Time Form (時間表示形式)

「Time Form」により、現在の時刻表示を AM/PM 表示である 12 時間表示（12H）にするか、24 時間表示（24H）にするかを設定できます。

設定値	説明
12H	12 時間表示（12:00AM～11:59PM）
24H	24 時間表示（00:00～23:59）

## 5) Date Form (日付表示形式)

「Date Form」により、日付の表示順を月 / 日 / 年（M/D/Y）にするか、日 / 月 / 年（D/M/Y）にするかを設定できます。

設定値	説明
M/D/Y	月 / 日 / 年 表示
D/M/Y	日 / 月 / 年 表示

## 6) File Sort (ファイルソート)

「File Sort」により、ファイル一覧の表示方法（ソート順）をアルファベット順（Alphabet）にするか、日付順（Time/Date）にするかを選択できます。

設定値
Alphabet または Time/Date

## 7) Default (デフォルト)

「Default」により、表示メニューの設定内容をデフォルト(初期設定)値に戻します。初期設定値は「表示メニュー一覧」をご覧ください。

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
2. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「Display」を選択します。**ENTER** ボタンを押して確定します。
3. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して「Default」を選択します。**ENTER** ボタンを押して実行します。
4. 「Default ?」メッセージ表示中に「Yes」を選んで **ENTER** ボタンを押すと、プリセットメニューの設定内容が初期状態に戻り、メモリへ書き込まれます。

## ユーティリティメニュー

「Utility」メニューでは、録音タイマーおよび再生タイマーの設定、設定データのロード機能およびセーブ機能、SD カードのフォーマットとカードの書き込み性能のチェックができます。

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
2. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「Utility」を選択します。
3. **ENTER** ボタンを押します。
  - ユーティリティメニューモード中に **STOP** ボタンを押すと、停止状態に戻ります。
4. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、ユーティリティメニューから目的の項目を選択します。**ENTER** ボタンを押すと、選択したメニュー項目が表示されます。

## ユーティリティメニューリスト

#	表示	説明
1	Record Timer	録音開始時刻と録音時間を設定します。
2	Play Timer 1	再生 1 の開始時刻を設定します。
3	Play Timer 2	再生 2 の開始時刻を設定します。
4	Play Timer 3	再生 3 の開始時刻を設定します。
5	Load Settings	SD カードから設定データをロードします。
6	Save Settings	SD カードに設定データを保存します。
7	Card Check	SD カードの書き込み性能をチェックします。
8	Card Format	すべてのファイルを削除し、カードを初期化します。

### 1) Record Timer (録音タイマー)

「Record Timer」により、録音開始時刻と録音時間を設定できます。

1. ユーティリティメニューから「Record Timer」を選びます。
  - 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
  - 「Utility」が表示されるまで **PTICH+** または **PITCH-**ボタンを押し、**ENTER** ボタンを押します。
  - 「Record Timer」が表示されるまで **PITCH+** または **PITCH-**ボタンを押し、**ENTER** ボタンを押します。
2. 録音タイマーをオンまたはオフに設定します。
  - **PITCH+**または **PITCH-**を押して、「On」または「Off」が強調表示されるようにします。録音タイマー機能をオンにするには、**◀◀**または**▶▶**ボタンを押して「On」を強調表示させます。録音タイマー機能をオフにするには、**◀◀**または**▶▶**ボタンを押して「Off」を強調表示させます。
  - **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して次の項目に移動します。選択した項目が強調表示されます。

3. 録音開始時刻を設定します。
  - 「Start Time」が強調表示されているときに、ENTER ボタンを押します。
  - 設定項目を選択するには、◀◀または▶▶ボタンを押します。
  - 設定値を選択するには、PITCH+または PITCH-ボタンを押します。
  - 時刻設定を終了するには、ENTER ボタンを押します。
  
4. 録音時間を設定します。
  - 「Duration」が強調表示されているときに、ENTER ボタンを押します。
  - 時間と分を選択するには、◀◀または▶▶ボタンを押します。
  - 時間が強調表示されているときに PITCH+または PITCH-ボタンを押し、時間を 000 から 999 の範囲で選びます。
  - 分が強調表示されているときに PITCH+または PITCH-ボタンを押し、分を 00 から 59 の範囲で選びます。
  
5. 変更を保存します。
  - F1 (EXIT) ボタンを押すと、「Store?」が表示されます。変更を保存しユーティリティメニューに戻るには、「Yes」を選びます。変更を保存せずにユーティリティメニューに戻るには、「No」を選びます。
  - 設定中に、変更を保存せずに停止状態に戻るには、STOP ボタンを押します。
  - タイマーが設定されると、表示部に「T」が表示されます。

## 2/3/4) Play Timer 1/2/3 (再生タイマー 1/2/3)

「Play Timer」により、再生開始時刻と再生するファイルの名前を設定できます。

1. ユーティリティメニューから「Play Timer 1 (2, 3)」を選びます。
  - 停止状態で F1 (MENU) ボタンを押します。
  - 「Utility」が表示されるまで PITCH+または PITCH-ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
  - PITCH+または PITCH-ボタンを押し、「Play Timer 1 (または 2 か 3)」を表示させ、ENTER ボタンを押します。
  
2. 再生タイマーを設定します。
  - PITCH+または PITCH-ボタンを押し、「Everyday」「Weekday」または「Weekend」が強調表示されるようにします。
  - 月曜日から金曜日まで毎日再生する設定にするには、「Weekday」が強調表示されるまで◀◀または▶▶ボタンを押します。
  - 土曜日と日曜日に再生する設定にするには、「Weekend」が強調表示されるまで◀◀または▶▶ボタンを押します。
  - PITCH+または PITCH-ボタンを押し、次の項目に移動します。選択した項目が強調表示されます。
  
3. 再生開始時刻を設定します。
  - 「Start Time」が強調表示されているときに、ENTER ボタンを押します。
  - ◀◀または▶▶ボタンを押し、AM/PM、時間、分を選びます。
  - 設定項目を選択するには、◀◀または▶▶ボタンを押します。
  - 設定値を選択するには、PITCH+または PITCH-を押します。
  - 時刻設定を終了するには ENTER ボタンを押します。
  
4. ファイルを選択します。
  - 「File Name」が強調表示されているときに、ENTER ボタンを押します。
  - ファイル一覧が表示されます。
  - PITCH+または PITCH-ボタンを押し、再生したいファイルと選び、ENTER ボタンを押します。



## 5. 変更を保存します。

- **F1 (EXIT)** ボタンを押すと、「Store?」が表示されます。変更を保存しユーティリティメニューに戻るには「Yes」を選びます。変更を保存せずにユーティリティメニューに戻るには、「No」を選びます。
- 設定中に、変更を保存せずに停止状態に戻るには「STOP」ボタンを押します。

## 5) Load Settings (設定データのロード機能)

「Load Settings」により、SD カードから本機にすべてのプリセットメニューの設定データをロードすることができます。

設定データのロードを行うには、設定データの保存機能によりプリセット内容を保存した SD カードを使用します。この機能は、特に複数のPMD561を同じプリセットメニュー設定にするとときに便利です。

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
2. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して「Utility」を選択します。**ENTER** ボタンを押して確定します。
3. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンをおして「Load Settings」を選択します。
4. **ENTER** ボタンを押します。「Load?」メッセージが表示されます。
  - ロードをキャンセルして停止状態に戻るには、**STOP** ボタンを押します。
5. 「Load?」メッセージの表示中に「Yes」を選び、**ENTER** ボタンを押すと、プリセット設定データをテキスト形式でSDカードからPMD561にロードします。

ロードされるファイルは、SDカード内のルートフォルダにある「561preset2.txt」です。プリセット設定データのロード中は「Executing...」と表示されます。データのロードが終了すると「Completed」が1秒間表示され、停止状態に戻ります。

## 6) Save Settings (設定データの保存 (セーブ) 機能)

「Save Settings」により、すべてのプリセットメニューの設定データをSDカードに保存します。

保存した設定データをPMD561にロードするには設定データのロード機能を使用します。

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
2. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「Utility」を選択します。**ENTER** ボタンを押して確定します。
3. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「Save Settings」を選択します。
4. **ENTER** ボタンを押します。「Save?」メッセージが表示されます。
  - **STOP** ボタンを押すと、保存を取り消して停止状態に戻ります。
5. 「Save?」メッセージの表示中に「Yes」を選び、**ENTER** ボタンを押すと、プリセット設定データをテキスト形式でPMD561からSDカードに保存します。

出力されるファイルは、SDカード内のルートフォルダにある「561preset2.txt」です。プリセット設定データの出力中は「Executing...」と表示されます。データの出力が終了すると「Completed」が1秒間表示され、停止状態に戻ります。

## 7) Card Check (SD カードのチェック)

ご使用の SD カードの書き込み性能をチェックし、結果を下記の通り表示します。

表示	説明
Good	問題なく録音可能です。
Poor	録音中の書き込みトラブルが予測されます。他の SD カードの使用を推奨いたします。

### 注意：

- カードチェック中は、電源をオフにしたり SD カード挿入部のドアを開けたりしないでください。カードやデータを破損する可能性があります。また、チェック中は電源アダプターのご使用を推奨いたします。
- チェック結果は参考のための情報であり、動作を保証するものではありません。

## 8) Card Format (SD カードのフォーマット)

1. 停止状態で **F1 (MENU)** ボタンを押します。
2. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「**Utility**」を選択します。**ENTER** ボタンを押します。
3. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、「**Card Format**」を選択します。**ENTER** ボタンを押します。
  - 「**Card Format?**」メッセージが表示されます。
  - **STOP** ボタンを押すと、SD カードのフォーマットを取り消して停止状態に戻ります。
4. 「**Card Format ?**」メッセージの表示中に「**Yes**」を選択して **ENTER** ボタンを押すと、SD カードがフォーマットされます。フォーマット中は「**Executing...**」と表示されます。SD カードのフォーマットが完了すると、「**Completed**」が 1 秒間表示されてから停止状態になります。

## ファイル一覧メニュー

MPGLANG1 または他フォルダー内の MP3 形式と WAVE 形式のファイル名を一覧表にして表示できます。このファイル一覧を使って、選択したファイルの再生、名称変更、削除をしたり、ファイル情報を確認したりできます。

1. 停止状態で **F2 (LIST)** ボタンを押します。
  - ファイル一覧が表示されます。
  - 選択したファイルが強調表示されます。
  - 一番最初のファイルを選択した状態で **PITCH+**ボタンを押すと、最後のファイルにジャンプします。
  - 一番最後のファイルを選択した状態で **PITCH-**ボタンを押すと、最初のファイルにジャンプします。
  - フォルダ一覧を表示するには、**◀◀**ボタンを押します。
2. **PITCH+**または **PITCH-**ボタンを押して、アクセスしたいファイルを選びます。**ENTER** ボタンを押すと、操作メニューが表示されます。
  - ファイル一覧メニューモード中に **STOP** ボタンを押すと、停止状態に戻ります。

## ファイル一覧のメニューリスト

#	表示	説明
1	Play	ファイルを再生します。
2	Information	ファイル情報を表示します。
3	Rename	ファイル名を変更します。
4	Delete	ファイルを削除します。
5	Copy	別のフォルダにファイルをコピーします。
6	Move	現在のフォルダから別のフォルダにファイルを移動します。
7	Delete Marks	選択したファイルから全マークを削除します。

### 1) Play (再生)

「Play」により、選択したファイルを再生できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、ファイル一覧メニューの「Play」を選択します。
2. **ENTER** ボタンを押すと再生が開始されます。
  - **STOP** ボタンを押すと、再生を停止し、ファイル一覧に戻ります。

### 2) Information (ファイル情報)

「Information」により、選択したファイルの情報を表示できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、ファイル一覧メニューの「Information」を選択します。
2. **ENTER** ボタンを押すと情報が表示されます。
  - ファイル一覧メニューに戻るには、**◀◀** ボタンを押します。
  - **STOP** ボタンを押すと停止状態に戻ります。

### 3) File Rename (ファイル名の変更)

「Rename」により、選択したファイルの名前を変更できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、ファイル一覧メニューの「Rename」を選択します。
2. **ENTER** ボタンを押すと名称変更ウィンドウが表示されます。
3. ファイル名を変更します。「**プリセットの名称変更**」をご覧ください。
4. 変更を保存するには **ENTER** ボタンを押します。変更を保存せずに前の画面に戻るには、ファイル名の最初の文字が強調表示されているときに、**◀◀** ボタンを押します。

#### 注意：

- ファイル名の最後の文字にスペースを入力した場合、変更した名前にはスペースが入りません。
- 文字数が 60 文字を超える場合、新しく文字を追加すると最後の文字が削除されます。

### 4) Delete (ファイルの削除)

「Delete」では、選択したファイルを削除できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、ファイル一覧メニューの「Delete」を選択します。
2. **ENTER** ボタンを押すと「File Delete?」が表示されます。
  - 「Yes」を選んで、**ENTER** ボタンを押すと、ファイルが削除されます。「No」を選んで **ENTER** ボタンを押すと、ファイル一覧メニューに戻ります。
  - 「STOP」ボタンを押すと停止状態に戻ります。

### 5) Copy (ファイルのコピー)

「Copy」により、選択したファイルを別のフォルダにコピーできます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、ファイル一覧メニューの「Copy」を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
  - フォルダー一覧が表示されます。
2. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、コピー先のフォルダを選びます。**ENTER** ボタンを押します。
  - コピーが開始されます。コピー中は「Executing...」が表示されます。
  - 「STOP」ボタンを押すと停止状態に戻ります。

## 6) Move (ファイルの移動)

「Move」により、選択したファイルを現在のフォルダから別のフォルダに移動できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、ファイル一覧メニューの「Move」を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
  - フォルダー一覧が表示されます。
2. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、移動先のフォルダを選び、**ENTER** ボタンを押します。
  - 移動が開始されます。移動中は「Executing...」が表示されます。
  - 「STOP」ボタンを押すと停止状態に戻ります。

## 7) Delete Mark (マークの削除)

「Delete Mark」により、選択したファイル中のすべてのマークを削除できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、ファイル一覧メニューの「Delete Mark」を選択し、**ENTER** ボタンを押します。
  - 「MARK Delete?」が表示されます。
  - 「Yes」を選んで、**ENTER** ボタンを押すとマークが削除されます。「No」を選んで **ENTER** ボタンを押すとファイル一覧メニューに戻ります。
  - 「STOP」ボタンを押すと停止状態に戻ります。

## フォルダー一覧メニュー

フォルダー一覧メニューでは、フォルダ名の一覧を表示できます。また、選択したフォルダを現在のディレクトリに設定したり、フォルダ名の変更、フォルダの削除、新しいフォルダの作成が行なえます。

1. 「LIST」でファイル一覧を表示した状態で、**◀◀**ボタンを押します。
  - フォルダー一覧が表示されます。
  - 選択したフォルダが強調表示されます。
  - 一番最初のフォルダを選択した状態で**PITCH+**ボタンを押すと、最後のフォルダにジャンプします。
  - 一番最後のフォルダを選択した状態で**PITCH-**ボタンを押すと、最初のフォルダにジャンプします。
2. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、アクセスしたいフォルダを選びます。**ENTER** ボタンまたは**F1 (MENU)** ボタンを押すと、操作メニューが表示されます。
  - **◀◀**または**F1 (EXIT)** ボタンを押すと、フォルダー一覧に戻ります。
  - フォルダー一覧メニューモード中に「STOP」ボタンを押すと停止状態に戻ります。
3. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、目的の項目を選択します。**ENTER** ボタンを押して選んだ項目を表示するか、実行します。

## フォルダー一覧のメニューリスト

#	表示	説明
1	Select	選択したフォルダを現在のフォルダに設定します。
2	Make Folder	新しいフォルダを作ります。
3	Rename	選択したフォルダの名前を変更します。
4	Delete	選択したフォルダを削除します。

### 1) Select (フォルダの選択)

「Select」により、選択したフォルダを現在のフォルダに設定できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、フォルダー一覧メニューの「**Select**」を選択します。
2. **ENTER** ボタンを押して、選んだフォルダを現在のフォルダに設定します。

### 2) Make Folder (フォルダの作成)

「Make Folder」により、新しいフォルダを作ることができます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、フォルダー一覧メニューの「**Make Folder**」を選択します。
2. **ENTER** ボタンを押します。
  - 「**NewFolder**」という名前のフォルダが作られます。
  - フォルダー一覧が表示され、新しいフォルダが強調表示されます。

#### 注意：

- 既に「**NewFolder**」がある場合、「**Already Exists**」メッセージが1秒間表示されます。
- フォルダ数が既に32個あるときは、「**Full Folder**」メッセージが1秒間表示されます。

### 3) Rename (フォルダ名の変更)

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、フォルダー一覧メニューの「**Rename**」を選択します。

2. **ENTER** ボタンを押すと名称変更ウィンドウが表示されます。

3. フォルダ名を変更します。「**プリセットの名称変更**」の手順をご覧ください。

4. **ENTER** ボタンを押すとフォルダー一覧メニューに戻ります。

変更を保存せずに前の画面に戻るには、フォルダ名の最初の文字が強調表示されているときに、**◀◀**ボタンを押します。

#### 注意：

- フォルダ名の最後の文字にスペースを入力した場合、変更した名前にはスペースが入りません。
- 文字数が32文字を超える場合、新しく文字を追加すると最後の文字が削除されます。

### 4) Delete (フォルダの削除)

「Delete」により、選択したフォルダを削除できます。

1. **PITCH+**または**PITCH-**ボタンを押して、フォルダー一覧メニューの「**Delete**」を選択します。

2. **ENTER** ボタンを押します。「**Delete?**」が表示されます。

- フォルダを削除するには「**Yes**」を選んで、**ENTER** ボタンを押します。「**No**」を選んで**ENTER** ボタンを押すと、フォルダー一覧メニューに戻ります。
- 「**STOP**」ボタンを押すと停止状態に戻ります。

#### 注意：

- SD カードにある最後のフォルダを削除することはできません。フォルダが最後のひとつであった場合「**Can not...**」が1秒間表示されます。

## トラブルシューティング

ご使用に関して問題が発生した場合、はじめに以下の項目をチェックしてください：

- すべてのケーブルとデバイスが正しく、確実に接続されていることを確認してください。
- このクイックスタートガイドで説明されているように PMD561 を使用していることを確認してください。
- 他のデバイスやメディアが正常に動作していることを確認してください。
- 正常に動作していないと思われる場合の問題と解決先については、以下の表を確認してください。
- PMD561 が異常動作をした場合、電源アダプター、またはバッテリーを取り外して電源をオフにし、マイクロプロセッサをリセットしてください。

問題	解決策
PMD561 の電源がオンになりません。	新しいバッテリーを取り付けてください。 付属の電源アダプターを使用し、正しく電源コンセントに接続されていることを確認してください。
PMD561 電源をオンにしても、その後オフになってしまいます。	新しいバッテリーを取り付けてください。
PMD561 は、録音しているようですが、再生すると音が出ません。	入力設定を確認してください（例：ライン入力が設定されている場合、ライン入力端子に何も接続されていなければ、PMD561 は無音のまま録音を行います）。
ヘッドホン、または内蔵スピーカーから音が再生されません。	<b>HP/SPKR VOL</b> コントロールの設定を確認してください。 別のオーディオ・ファイル、またはカードで確認してください。
PMD561 が録音できません。	既に最大 999 ファイルの録音が行われていないかどうか確認してください。 PMD561 が SD カードを認識しているか確認してください。
マイク入力からの信号が確認できません。	入力選択を確認してください。 <b>Rec LEVEL</b> を確認してください。 外部マイクを接続している場合、接続しているマイクがファンタム電源を必要としているか確認してください。
PMD561 に過度のノイズが発生しています。	ケーブルの接続を確認し、必要であれば交換してください。 適切なゲインレベルが確認してください。
コンピューターで再生すると音質がよくありません。	コンピューターのサウンドカードとアプリケーションの設定を確認し、出来る限り高音質で再生できるセッティングにしてください。
コンピューターでファイルを読み取ることができません。	再生するアプリケーションの仕様を確認してください。いくつかの再生・編集アプリケーションは、MP3 や WAV フォーマットに対応していないものもあります。

## エラーメッセージ

エラー表示	説明
No Card	SD カードが挿入されていない、または SD カードが検出されない。
Unformat	SD カードの初期化の失敗、または FAT16、FAT32 以外のフォーマット
Full Card	SD カードの残り容量が数キロバイト以下。
Full 999	SD カードのトラック数が最大の 999 に達した。
Full MARK	現在のファイルに追加されたマークの数が最大の 30 個に達している。
No File	トラックファイルが検出されない。
Key Locked	Key Lock 状態で何かのボタンを操作した。
Card Locked	SD カードへの書き込み禁止。
VBR	VBR ファイルが順送りされている、または巻き戻されている。
Can not...	無効な操作。
Need DC IN	DC 入力がない。
Low Battery (点滅)	バッテリー電圧が低い。
Low Battery	バッテリー電圧の維持のため自動で電源オフ。
No PresetFile	プリセット設定ファイルが見つからない。
ErrPresetFile	プリセット設定のファイル内容にエラーが発生。
ErrUpdateFile	バージョンアップファイルまたはファイルシステムが正常に機能しない。
Door Open	SD カード挿入部のカバーが開いている。
Err Format	MP3 または PCM のファイル形式にエラーが発生。
Already Exists	同じファイル名が存在している。
Limit 80m	コピーしたセグメントの指定範囲時間が 80 分を超えている。
Long Title	ファイル名が 64 バイトを超えている。
Err Card	SD カードまたはファイルの処理エラー。
Err RTC	RTC 処理エラー。
Err SRAM	スタティック RAM エラー。
Err FlashROM	フラッシュ ROM エラー。
Need Update	更新が完了していない。
Unmatched	プリセット設定が正しくない。
Passcode Fail	Menu Lock 解除時のパスコードが正しくない。

## 工場出荷状態へ初期化する

メニューの設定やパスコードなどを工場出荷時の状態に戻すには、次の手順で操作してください。

1. **DISPLAY** ボタンと **REC PAUSE** ボタンを同時に押しながら **POWER** スライドスイッチを **ON** にします。
2. **PITCH+**および **PITCH-**ボタンを押して、「**Factory Default?**」を選択します。このとき、選択したメニューがハイライト表示されます。
3. **ENTER** ボタンを押すと、表示部に「**Default?**」が表示されます。
4. 「**Default ?**」が表示中に、**◀◀**ボタンを押して「**YES**」を選択します。
5. **ENTER** ボタンを押すと、表示部に「**Executing...**」が点滅表示されます。
  - 工場出荷状態への設定が完了すると、表示部に「**Completed**」が 1 秒間表示され、サービスメニューに戻ります。
  - 工場出荷状態へ戻した場合、「**Date Form**」のデフォルト設定は US 向けの設定となります。出荷先に応じた設定が必要です。

「Date Form」

US : M/D/Y (月 / 日 / 年)

EU : D/M/Y (日 / 月 / 年)

6. **POWER** スライドスイッチを **OFF** にします。





**marantz**  
***PROFESSIONAL***

[inmusicbrands.jp/marantz\\_pro](http://inmusicbrands.jp/marantz_pro)

Manual Version 1.0